

【当院では新たに **脊椎専門外来** スタート！】

2022年4月より脊椎専門外来を開始いたしました。

脊椎専門医の先生（真鍋先生・角田先生・石綿先生）にご担当いただいております。

長らく腰痛で苦しんでいる方がおられましたら、まずは診察時にご相談くださいませ。

真鍋先生：東前橋整形外科病院 副院長 脊椎外科センター長

角田先生・石綿先生：脊椎外来

花言葉

木苺・・・“愛情・羨望”

ヒマワリ・・・“私はあなただけを見つめる”

テマリソウ・・・“純粋な愛”

松田院長からあなたへ 耳より情報

■変形性膝関節症（knee osteoarthritis, 膝 OA）について

変形性膝関節症（以下、膝 OA）は、治療が必要な人が約 1,000 万人、症状が出ていない方を含めると約 3,000 万人いると言われていています。加齢とともにその有病率は高くなり、40 歳代では男女とも約 10%ですが、50 代で男性 25%、女性 30%となり、女性は 60 代で約 60%、70 代で 70%、80 歳を超えると 80%を超えてきます。男性でも 70 歳以降は 50%を超えてきます。

■早期膝 OA の病態に注目

初期膝 OA は単純 X 線を用いた Kellgren-Lawrence 分類（グレード 0 から 4）のグレード 2 を指すのに対し「早期膝 OA」はグレード 0 および 1 を指します。これは従来では膝 OA ではないと考えられてきた段階になります。ただ、X 線で異常が見られない状態でも MRI を撮影すると、軟骨の変性や亀裂、欠損、あるいは軟骨下骨の変化、半月板の位置異常（逸脱）や変性や損傷、滑膜の炎症等の関節構造物に何らかの構造的変化をきたしていることをよく経験します。

■内側半月板の逸脱が膝 OA 発症に関与している

内側半月板が本来存在すべき位置から内側に移動して存在する内側半月板逸脱が存在すると、膝 OA の発症と進行のリスクが高くなることになっています。また、単純 X 線検査で判断する膝 OA の有無にかかわらず、中高年者においては加齢とともに半月板損傷の有病率が高くなることも明らかになりました。また、半月板損傷が膝 OA の発症に大きく関与することも示されています。

★院長よりメッセージ

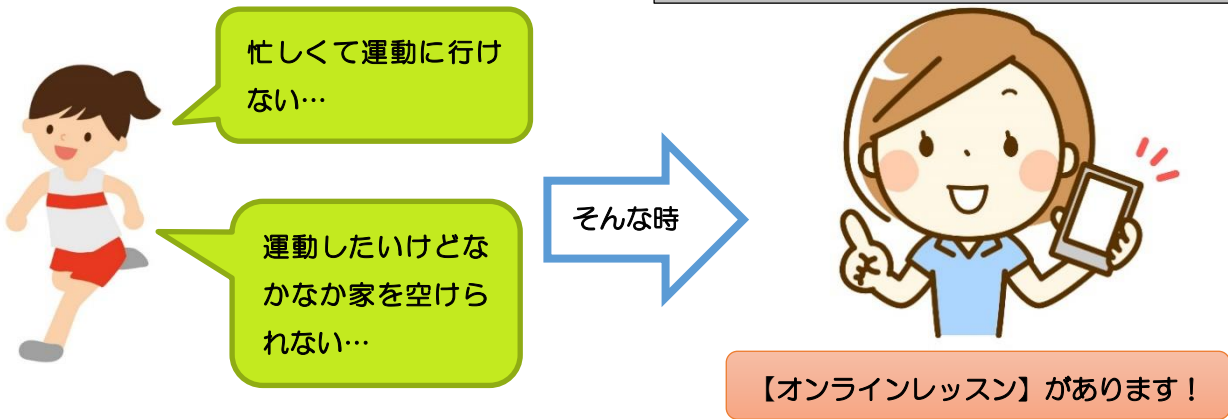
レントゲンで異常がないから問題なしではありません。むしろ MRI で半月板損傷や逸脱があった場合は膝 OA 発症や進行のリスクがあります。膝の痛みがある方は MRI でしっかり精査することをお勧め致します。また、「膝ドック」で自分の膝の状態をしっかり知っておくことが大切です♪

膝コース（全6回）がリニューアル！！



ZOOM を使って、理学療法士が運動指導

パソコンやスマホを見ながら
自宅でレッスンが受けられます。



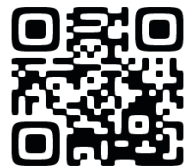
オンラインレッスンのメリット

- いつでも、どこでも運動指導を受けられる。
- スマホやパソコンが1台あれば誰でも簡単。
- 当日、参加し忘れても期間内なら録画動画見放題

料金

6000円（6回分）、1500円（1回分）

膝コースを開催中。今すぐチェック！！ <https://running-care-online.com/> →



nagomi 会の取り組み

An advertisement for 'Enterprise Examination' (企業検診). It features a background image of a doctor's hands in a white coat. The text 'はたらくを支える 企業検診' is written in blue. Below this, a yellow box contains the text '整形外科検診コース・脳ドックコースがあります。' (We have orthopedic examination courses and brain doppler courses). At the bottom, it says 'presented by まつだ整形外科クリニック' (presented by Matsumida Orthopedic Clinic) with a small logo.



詳しくはこちら！